

● 9月4日 下野新聞社よりARC大会3連覇の取材を受けました

コスタリカ世界大会を前に決意を表しました。



9月7日に掲載しました。

下野新聞 2017年(平成29年)9月7日(木曜日)

優勝、準優勝に輝いた帝京大チームのメンバー

帝京大V、3年連続世界へ

快挙、別チームも準優勝

【宇都宮】帝京大宇都宮キャンパスでこのほど開かれたロボットコンテストの全国大会「WRO Japan 2017アドバンスド・ロボティクス・チャレンジ」で、同大チームが優勝し、3年連続の国際大会出場を決めた。同大の別のチームも準優勝に輝き、関係者は快挙を喜んでいる。(小池竜太)

コンテストは中小高校と、主に関東の大学生や高専生、専門学校生らが対象のアドバンスド・ロボティクス・チャレンジなどの部門がある。同大チームが優勝したアドバンスド部門は同大が

主権、NPO法人「WRO Japan」(事務局・東京都)が主催し、8月26日に開催。神奈川工科大学など計18チームが参加した。今大会は、自律型ロボットを使って2・3分四方の

フロアに置いてある木製のブロックを拾い、幅40センチの棚に「テトリス」のように積み上げていく競技で実施。ブロックを一つ積みめば1センチ、横一列を隙間なく積みむことができれば5センチが加算され、得点などを競う。

帝京大の工学系クラブ「ロボラボ」所属で、ともに理工学部1年の高橋大地さん(18)と平山圭太さん(19)のチームが優勝。準優勝は同クラブの経済学部2年宇賀神理恵さん(20)と理工学部1年伊藤佑真さん(19)のチームだった。

理工学部の波江野勉学部長と蓮田裕一教授の指導を受けて準備。本番では両チームとも30分で並んだが、費やした時間がより短

かった高橋さん、平山さんのチームが優勝となった。平山さんは苦労が実り、うれしい」と振り返る。高橋さんは国際大会に向け、「多くの人やロボットに会えるので、見聞を深めたい」と語った。

国際大会は11月10〜12日にコスタリカで開催予定。同NPO法人によると、昨年のアドバンスド部門には約40の国と地域から参加。同大チームは、ベスト16に入ったという。

けさの顔